

AFC加盟国選手の選手登録枠(アジア枠) 創設に関する説明資料

2008年9月
社団法人日本プロサッカーリーグ
HRディベロップメントグループ

アジア枠の骨子

「外国籍選手の「3名枠」に加え、新たに1名のAFC加盟国選手の登録枠「アジア枠」を創設する」

	25名枠	外国籍	アジア枠	C+U20	出場可能数	最大在籍数
現行	—	3	—	2	3	5
導入後	現行	3	1+1 or 0+2		3+1※	5

※印:「1」はアジア枠に限る

付記

- 現行のJFAのプロ契約制度(25名枠と5名枠及び基本規程69条に定める事項)は維持する。
- アジア枠の選手は、外国籍選手と同時に試合出場することを可能とする。
- アジア枠の運用とC契約+U20枠の運用については、クラブによる選択を可能とする。
- JFA基本規程69条に該当する選手については外国籍扱いとならないため、本表には含めず。

アジア枠創設の目的

1. Jリーグのゲームレベルの向上

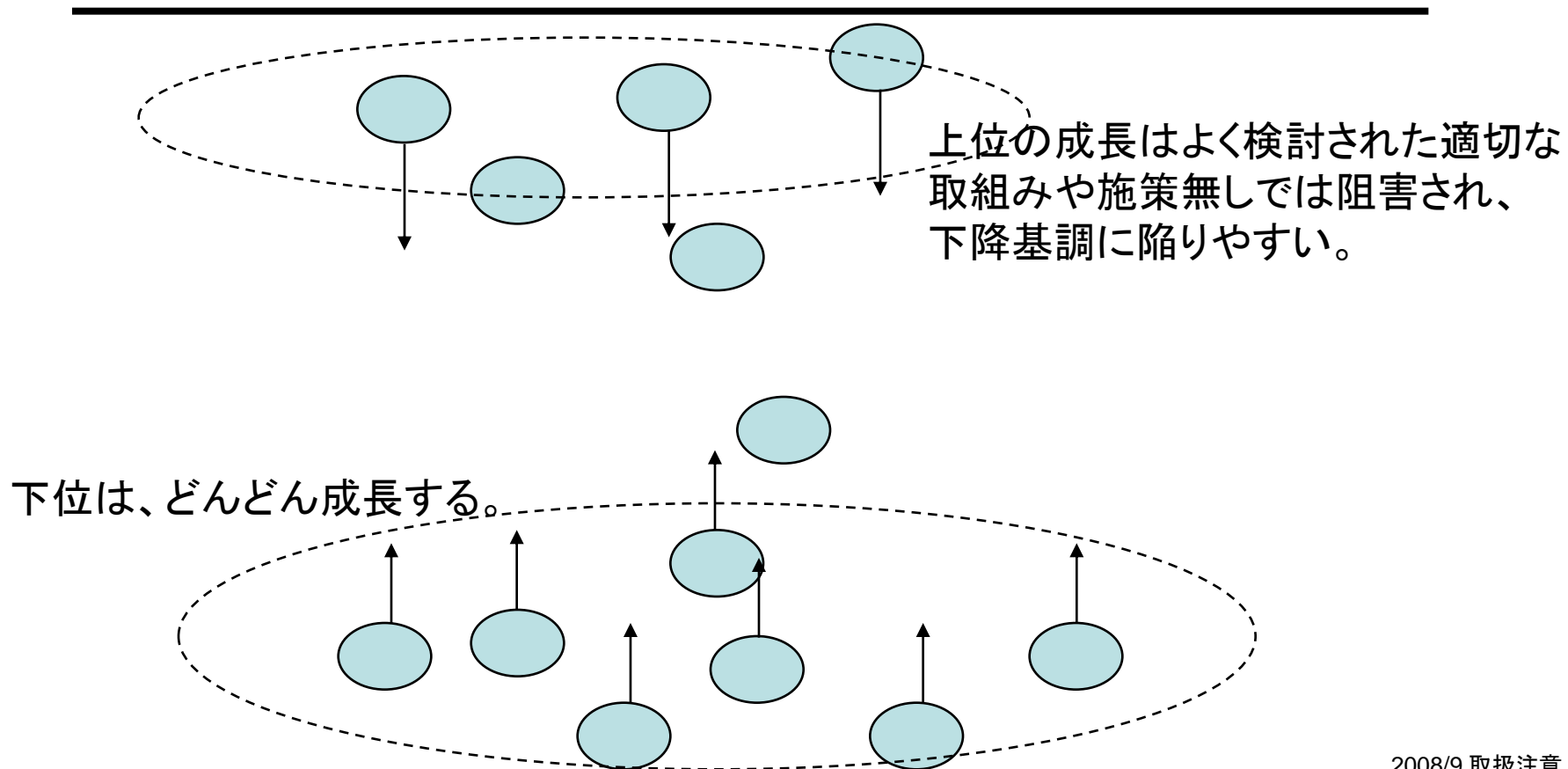
2. アジア地域における新たな事業的可能性の開拓

3. アジア地域を対象とした国際交流、貢献の促進

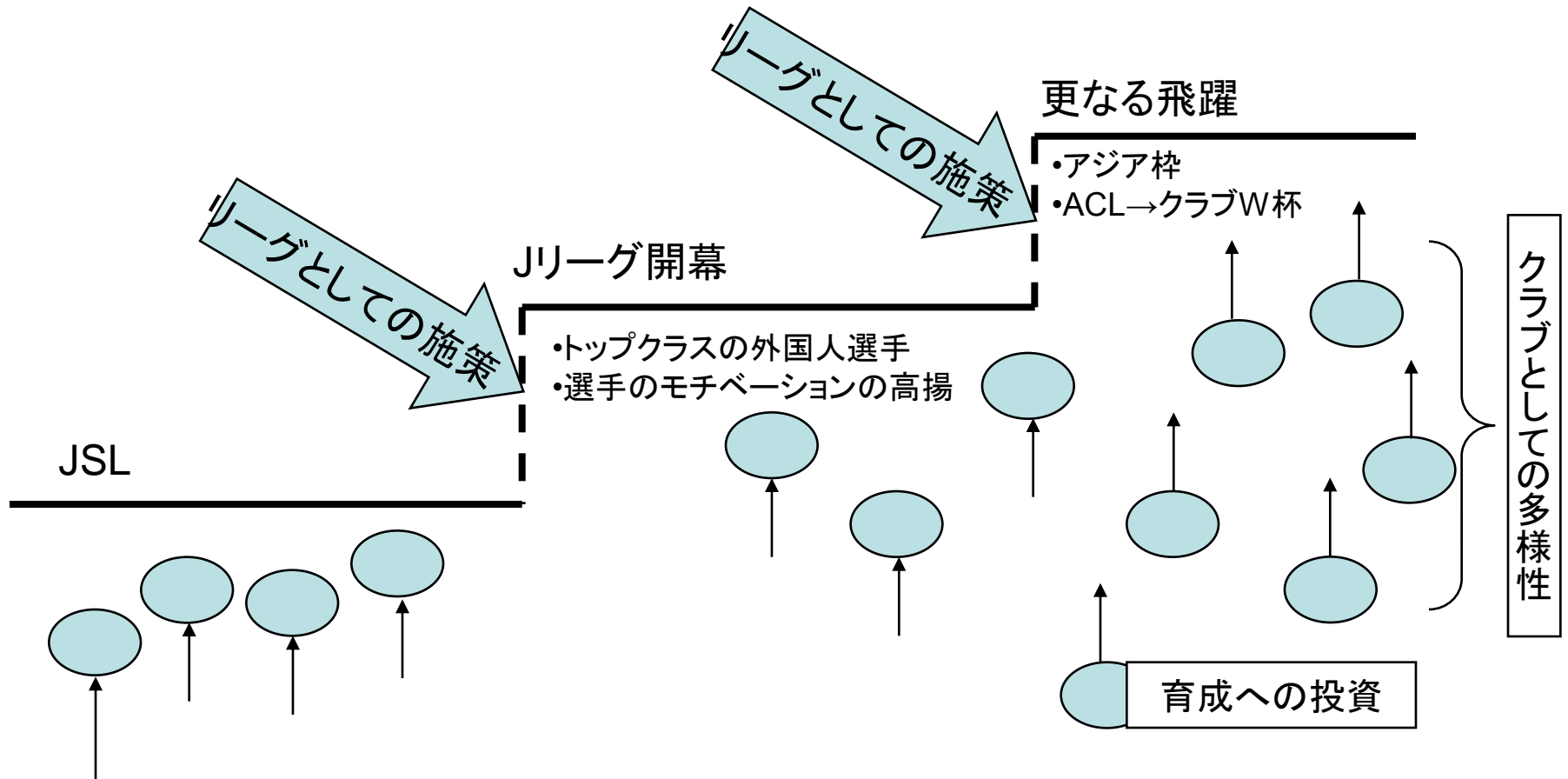
日本人選手のレベルアップに関する考察

◆シーリングエフェクト(天井効果)

天井



日本人選手のレベルアップに関する考察



- ① 継続的な成長にはステージに応じた施策に取り組んでいくことが重要
- ② Jリーグのゲームレベルの向上と日本人選手のレベルアップの両立

アジア枠創設の目的

1. Jリーグのゲームレベルの向上

2. アジア地域における新たな事業的可能性の開拓

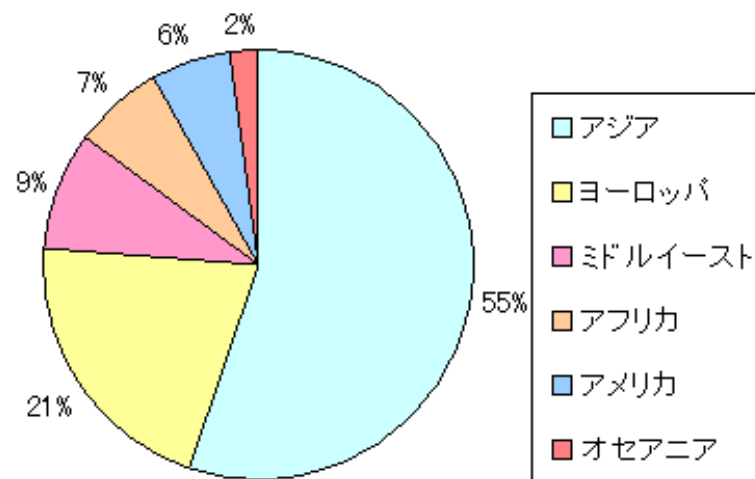
3. アジア地域を対象とした国際交流、貢献の促進

プレミアリーグ海外放送権料 (2007/08 ~ 2009/10)

プレミアリーグ 207/08~2009/10 トータル放送権料		£ 625,000,000 ¥127,037,500,000
アジア	比率	55%
	放送権料	£ 343,750,000
	円換算	¥ 69,870,625,000
ヨーロッパ	比率	21%
	放送権料	£ 131,250,000
	円換算	¥ 26,677,875,000
ミドルイースト	比率	9%
	放送権料	£ 56,250,000
	円換算	¥ 11,433,375,000
アフリカ	比率	7%
	放送権料	£ 43,750,000
	円換算	¥ 8,892,625,000
アメリカ	比率	6%
	放送権料	£ 37,500,000
	円換算	¥ 7,622,250,000
オセアニア	比率	2%
	放送権料	£ 12,500,000
	円換算	¥ 2,540,750,000

プレミアリーグが海外で獲得している放送権料(合計1270億円)のうち55%(約700億円)をアジアから獲得している
(ミドルイーストを含めると64% 約800億円)

2007/08~2009/10 地域別放送権料



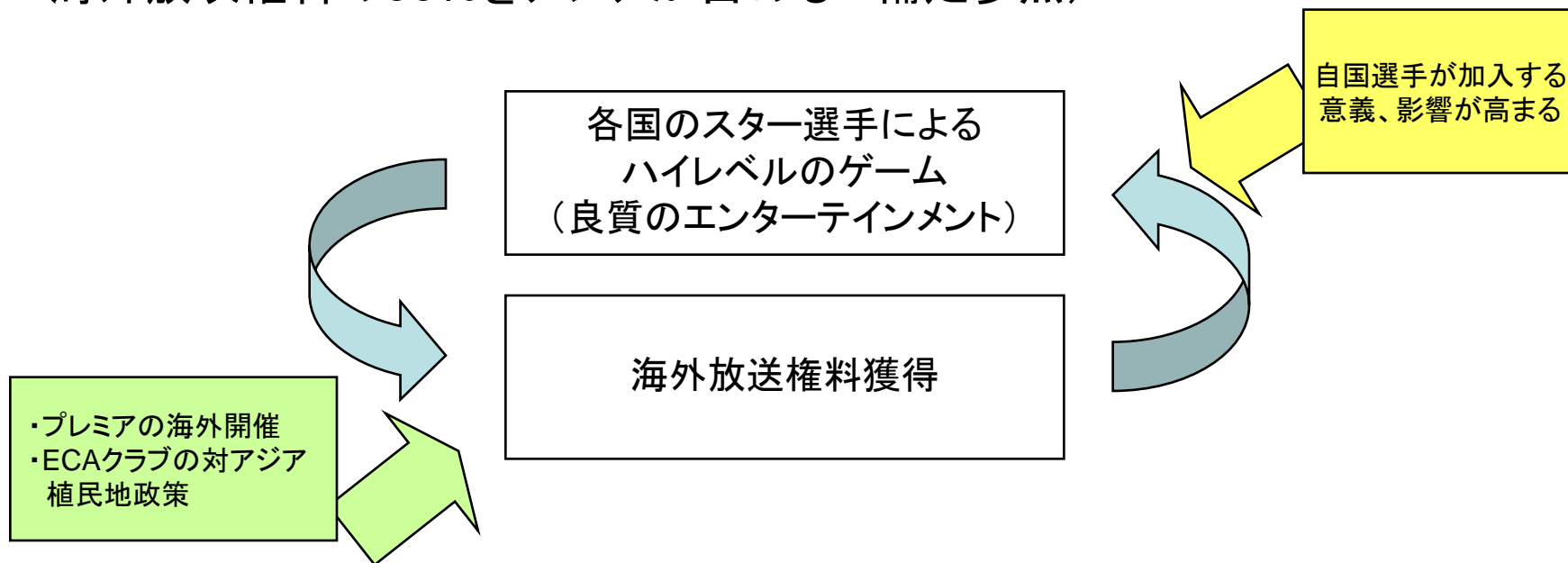
* 1 £ = ¥ 203.26

環境と事実(欧州)

欧州における成功の鍵(KSF: Key Success Factor)

アジアマーケットからの海外放送権料の規模

(プレミアリーグはアジアからの放送権料が700億円
海外放映権料の55%をアジアが占める: 補足参照)



欧州におけるKSFはアジア(日本)にとってもKSFであるか?

アジアにおけるマーケット

1. 中・長期的

- ・アジアでのデジタルTVの普及
- ・ACLの発展とアジアのリーディングリーグとしてのJリーグ

2. 短期的

- ・アジアでの露出による国内スポンサーのメリット拡充
- ・在アジア企業を対象とした新たな潜在スポンサー獲得の可能性
- ・クラブの立地を活かしたマーケティング活動

※海外放送権販売における新たな枠組み造りが必要

アジア枠創設の目的

1. Jリーグのゲームレベルの向上
2. アジア地域における新たな事業的可能性の開拓
3. アジア地域を対象とした国際交流、貢献の促進

アジア枠導入により、影響を受ける可能性のある項目

技術・強化的側面

ACL競技規則

ゲームレベル

国際経験

国内選手の出場機会

若い選手、下部組織、特定ポジション(FW)

政治的側面

FIFAとの関係

AFCとの関係

他国FAとの関係

他国クラブとの関係

経営的側面

ECAトップクラブのアジア戦略

アジアプロリーグ発展

Jクラブの経営環境

放送権料(メディア環境)

スポンサー構造

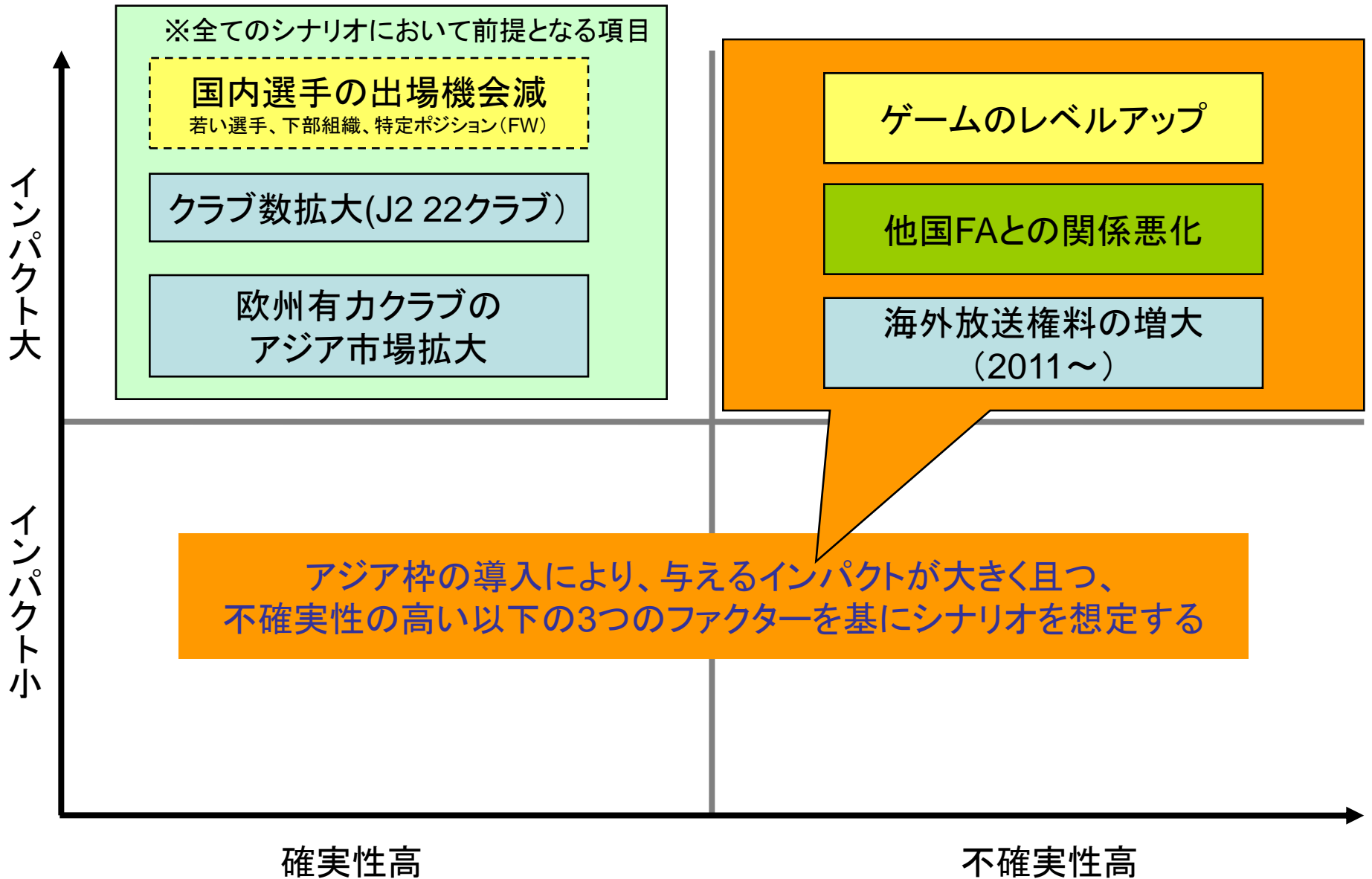
クラブの地域性

選手年俸

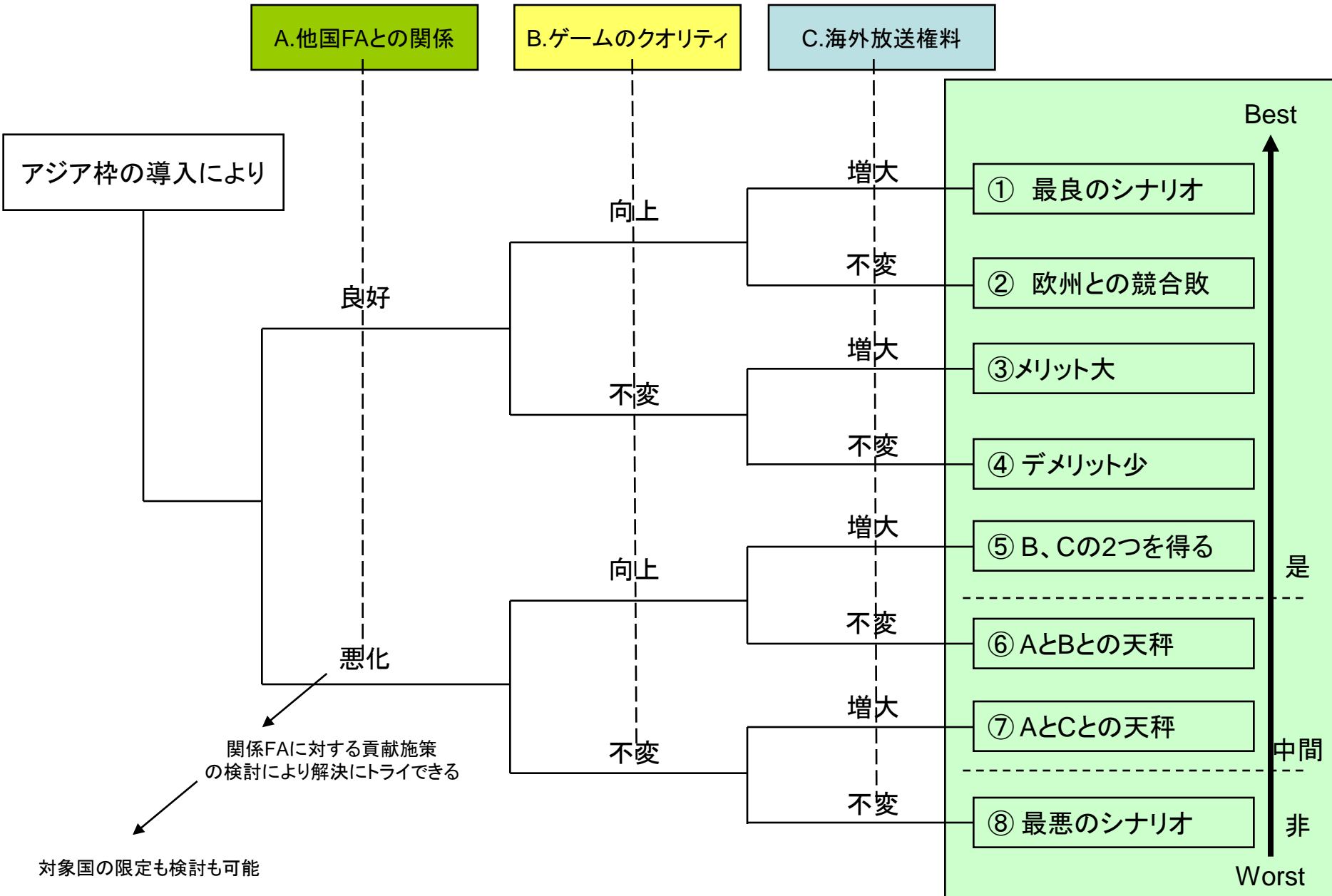
現行契約制度

Jクラブ数

シナリオ検討に当たっての項目の抽出



シナリオツリー (想定されるケースの系統図)



アジア枠の導入に伴うポイント(まとめ)

- －日本人選手の出場機会
- －AFC加盟FAとの関係(韓国他)
- －ACLの競技規則(3名→4名出場)
- －アジア地域対象のマーケティングの枠組み造り